

アイカ工業株式会社

証券コード：4206

AICA

第125期 報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

CHEMICAL PRODUCTS

LAMINATES AND BUILDING MATERIALS

株主の皆さまへ

Top Message



代表取締役会長

小野 勇治



代表取締役 社長執行役員

海老原 健治

「Value Creation(付加価値の創造)」に挑戦し、 持続的な成長とより一層の企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第125期(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。アジア・オセアニア地域の経済につきましては、中国における不動産市況の停滞が続きましたが、東南アジアは観光業や個人消費の回復が進み、概ね堅調に推移しました。一方、エネルギーコストや原材料価格の高騰、為替・金利変動の影響に加えて、米国の関税政策の影響などにより、国内外ともに先行きは不透明な状況で推移しました。

国内建設市場においては、住宅市場では建築資材価格や運搬費・労務費などの上昇による住宅価格の高騰から、住宅取得マインドの低下が広がり、持家および戸建分譲が減少し、住宅着工戸数は前年を下回りました。非住宅市場では、インバウンド需要によるホテル・店舗の新築・改修需要が増加しましたが、医療福祉施設や倉庫などの需要が減少し、前年を下回りました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「Value Creation 3000 & 300」の方針に基づき、収益性の改善、成長事業の創出・育成、健全な経営基盤の構築などを推進いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高248,696百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益27,408百万円(同8.4%増)、経常利益28,668百万円(同9.7%増)、親会社株主に帰属する当

期純利益16,896百万円(同11.6%増)となりました。

配当につきましては、減配をしない累進配当を継続する基本方針に基づき、期末配当金は1株につき70円とし、中間配当金と合わせた年間配当金は、1株当たり126円といたしました。

今後の景気動向につきましては、国内経済は、賃上げによる消費者マインドの向上や設備投資の堅調な推移、インバウンド需要の拡大を背景に、緩やかな回復基調が続くと予想されます。一方、米国の関税政策、金利・為替の変動、物価上昇など、不透明な状況が続くと予想されます。

国内建設需要につきましては、住宅着工は、住宅価格の高騰や住宅金利の上昇などにより、停滞気味で推移する見通しです。非住宅建設市場は、企業の設備投資に持ち直しの動きがみられ、堅調に推移することが予想されます。

アジア・オセアニア地域の経済は、各国政府の政策の下支えにより前年を上回る成長率が期待できますが、米国の関税政策の影響、中国の不動産市場の回復動向などに留意する必要があります。

このような経営環境の下、当社グループは引き続き中期経営計画「Value Creation 3000 & 300」の基本方針に基づき、収益性の改善、成長事業の創出・育成、および気候変動対応や人的資本をはじめとした健全な経営基盤の構築に取り組み、当社グループの持続的な成長とより一層の企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

CONTENTS

株主の皆さまへ……………1	財務情報(連結)……………5	財務情報(単体)……………7	企業活動のご案内…………8
セグメント別のご案内……3	連結貸借対照表(要約)	貸借対照表(要約)	会社の概要……………12
	連結損益計算書(要約)	損益計算書(要約)	株式の状況……………13
	連結キャッシュ・フロー計算書(要約)		株主メモ……………14

セグメント別のご案内

Introduction of Each Segment

化成品セグメント

売上高 **138,587**百万円

55.7%

[売上高構成比]

接着剤系商品は、国内においては、合板用接着剤や集成材用接着剤が低迷したものの、自動車用のホットメルトが伸長し、施工用接着剤や木工・家具用接着剤なども堅調に推移したことから、売上を伸ばすことができました。海外においては、ベトナムやマレーシアなどで好調に推移し、売上を伸ばすことができましたが、アイカ・アジア・パシフィックグループのシンガポール工場閉鎖に伴う一時的な影響などにより利益は前年を下回りました。

建設樹脂系商品は、塗床材「ジョリエース」や水性硬質ウレタン樹脂系塗床材「アイカピュール」が半導体工場、燃料電池工場、データセンターなどのニーズを捉えて好調に推移したことから、売上を伸ばすことができました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業は、国内においては、電子材料用・自動車用の高性能フィルム「ルミアート」や工業用の有機微粒子などが好調で、売上を伸ばすことができました。海外においては、中国では苦戦したものの台湾やベトナムで好調に推移し、売上を伸ばすことができ、高付加価値商品の販売促進などにより利益も伸ばすことができました。

この結果、売上高は138,587百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は9,331百万円(前年同期比0.6%増)となりました。



水性硬質ウレタン樹脂系塗床材 アイカピュール
物件名: 株式会社 FUJI 岡崎工場
設 計: 株式会社玉井設計

売上高



高性能フィルム ルミアート
(車載ディスプレイ部分)
※使用イメージ



塗床材 ジョリエース
物件名: 諏訪の杜病院
設 計: 株式会社内藤建築事務所 九州事務所

建装建材セグメント

44.3%

売上高 110,109百万円

[売上高構成比]

メラミン化粧板は、国内においては、高付加価値商品の伸長に加え、インバウンド需要の拡大や国内シェアNo.1のブランド力を活かした商品戦略により好調に推移し、売上が前年を上回りました。また、新規市場開拓に向けた戦略的商品として注力している床材「メラミンタイル」も着実に売上を伸ばすことができました。海外においては、タイやインドネシアなどで好調に推移しましたが、中国は不動産不況により低調に推移したことから、売上が前年を下回りました。

ボード・フィルム類は、シート合板や柄物のポリエステル化粧合板が低調に推移しましたが、ラインナップを拡充した粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」が好調に推移し、売上が前年を上回りました。

メラミン不燃化粧板「セラール」は、店舗、ホテル、駅などの非住宅市場での需要を獲得するとともに高意匠メラミン不燃化粧板「セラール セレント」や抗ウイルスメラミン不燃化粧板「セラール ウイルテクトPlus」などの高付加価値商品の採用が拡大し、売上が前年を上回りました。

不燃建材は、市場に従来存在しなかったサイズを展開したアクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト」が店舗、工場、教育

施設で好調に推移しましたが、押出成形セメント板「メース」などが苦戦し、売上が前年を下回りました。

住器建材は、造作風洗面化粧台「スマートサニタリー」や高級人造石「フィオレストーン」が好調で、売上を伸ばすことができました。「スマートサニタリー」は、購入しやすい価格帯で、オーダーメイドのような高い自由度と意匠性が好評を博し、お施主さまのショールームへの来場が増加していました。そのため、東京・名古屋・大阪・福岡のショールームで「スマートサニタリー」の展示コーナーを拡充し、拡販を進めました。

この結果、売上高は110,109百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は22,535百万円(前年同期比10.8%増)となりました。



メラミンタイル

物件名：グランスタ東京
設計：株式会社JR東日本クロスステーション・株式会社JR東日本建築設計

売上高

(単位:百万円)



高意匠メラミン不燃化粧板 セラール セレント

物件名：東武アーバンパークライン「七里駅」
設計：東日本総合計画株式会社・株式会社オー・エヌ・オー大野設計



造作風洗面化粧台 スマートサニタリー

物件名：Villike 富戸イタリヤ
設計：デグチホールディングス株式会社

財務情報 (連結)

Financial Information

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	第125期 2025年3月31日現在	第124期 (前期) 2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	179,554	172,621
固定資産	108,503	102,117
有形固定資産	74,019	67,006
無形固定資産	10,393	11,436
投資その他の資産	24,090	23,675
資産合計	288,058	274,739
負債の部		
流動負債	62,775	62,822
固定負債	35,559	35,373
負債合計	98,334	98,195
純資産の部		
株主資本	144,149	140,033
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	7,177	8,545
利益剰余金	137,195	127,725
自己株式	△ 10,115	△ 6,129
その他の包括利益累計額	29,223	21,753
その他有価証券評価差額金	7,970	7,999
繰延ヘッジ損益	△ 5	3
為替換算調整勘定	20,965	13,470
退職給付に係る調整累計額	292	280
新株予約権	19	19
非支配株主持分	16,331	14,736
純資産合計	189,723	176,543
負債純資産合計	288,058	274,739

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	第125期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで	第124期 (前期) 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	248,696	236,625
売上原価	180,790	172,485
売上総利益	67,906	64,139
販売費及び一般管理費	40,497	38,853
営業利益	27,408	25,286
営業外収益	2,596	1,977
営業外費用	1,336	1,128
経常利益	28,668	26,135
特別利益	—	644
特別損失	1,417	995
税金等調整前当期純利益	27,250	25,784
法人税、住民税及び事業税	8,350	9,060
法人税等調整額	198	△ 24
当期純利益	18,701	16,749
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,805	1,614
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,896	15,135

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

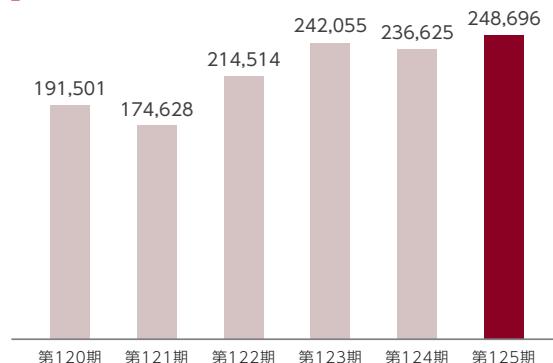
(単位：百万円)

科 目	第125期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで	第124期 (前期) 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	26,751	28,482
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 11,121	△ 7,574
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 16,790	△ 11,167
現金及び現金同等物に 係る換算差額	3,973	1,953
現金及び現金同等物の 増減額	2,812	11,693
現金及び現金同等物の 期首残高	59,637	47,943
現金及び現金同等物の 期末残高	62,450	59,637

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

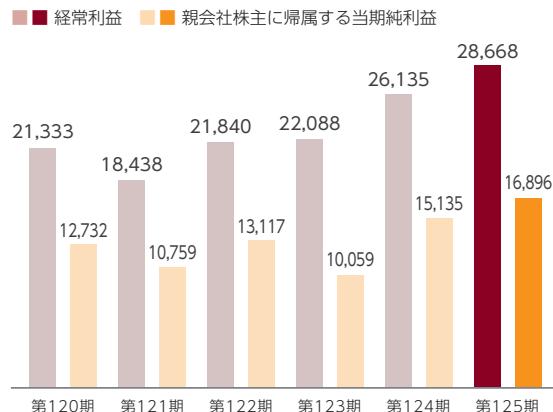
■ 売上高

(単位：百万円)



■ 経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



■ 配当について(剰余金処分)

当期の期末配当金は、1株につき70円といたしました。中間配当金として1株につき56円をお支払いしておりますので、当期の年間配当金は1株当たり126円となります。

財務情報 (単体)

Financial Information

貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	第125期 2025年3月31日現在	第124期 (前期) 2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	84,603	86,240
固定資産	102,824	100,653
有形固定資産	17,762	16,085
無形固定資産	3,294	3,757
投資その他の資産	81,767	80,810
資産合計	187,428	186,894
負債の部		
流動負債	28,663	31,613
固定負債	19,711	19,655
負債合計	48,375	51,268
純資産の部		
株主資本	131,084	127,621
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,445	13,445
利益剰余金	117,863	110,413
自己株式	△ 10,115	△ 6,129
評価・換算差額等	7,948	7,985
その他有価証券評価差額金	7,954	7,981
繰延ヘッジ損益	△ 6	3
新株予約権	19	19
純資産合計	139,052	135,625
負債純資産合計	187,428	186,894

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	第125期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで	第124期 (前期) 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	129,514	122,435
売上原価	90,075	85,039
売上総利益	39,438	37,396
販売費及び一般管理費	21,589	21,002
営業利益	17,849	16,394
営業外収益	3,680	4,169
営業外費用	950	891
経常利益	20,579	19,672
特別損失	417	—
税引前当期純利益	20,162	19,672
法人税、住民税及び事業税	5,390	6,100
法人税等調整額	△ 103	△ 405
当期純利益	14,875	13,977

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

企業活動のご案内

Corporate Activities

タイ・中国のグループ会社で生産設備を増設

当社グループは、国内建設市場の動向に左右されにくい骨太な経営体質への変革を目指し、海外での事業展開を推進しています。近年は、アジア圏での自動車生産台数の増加を受け、ホットメルト接着剤の中でもヘッドランプ用ホットメルト形シール材の生産が伸長しています。また、最終製品の解体・リサイクルを可能にする易解体性シール材へのご要望が増えており、開発・拡販に注力しています。

そのような中、易解体性ホットメルト形シール材のさらなる売上の拡大が見込まれることから、総額で約7億円を投じてアイカタイケミカル社(タイ)および昆山アイカ社(中国)で生産設備を増設します。2025年7月から順次稼働を予定しており、いずれも生産能力は現状の2倍に向上します。

生産能力増強により、需要増に対応することに加え、これまでに獲得した販売網・生産拠点・技術・ブランド力を活かしてさらなる成長を図り、易解体性製品や高耐熱性製品などの高機能ホットメルト形シール材の売上高を、グループ全体で13.9億円(2023年度)から26.2億円(2030年度)に伸長させる計画です。

設備投資の概要

	アイカタイケミカル社	昆山アイカ社
設備投資内容	工場拡張および製造ラインの新設	製造ラインおよび倉庫の新設
設備投資額	約3.2億円(7,480万タイバツ、1タイバツ=4.35円にて計算)	約3.9億円(1,776万元、1元=22.02円にて計算)
工事期間	2025年5月~2025年10月(予定)	2025年1月~2025年6月(予定)
稼働開始時期	2025年11月(予定)	2025年7月(予定)

※為替レートは計画時のものです



アイカタイケミカル社



昆山アイカ社

企業活動のご案内

Corporate Activities

東京・名古屋・大阪・福岡のショールームで「スマートサニタリー」コーナーを拡張

造作風洗面化粧台「スマートサニタリー」は、オーダーメイドのような高い自由度で、スマートかつ快適な洗面空間を実現できる洗面カウンターです。手の届きやすい価格で自分好みにコーディネートできる点が評価されSNSで話題となっており、オープンスタイルの「スマートサニタリーU」や、トイレ空間向けの「スマートサニタリーミュゼ」を追加するなど、ラインナップを拡充させています。

一方で、実物をご覧いただきながら部材を選定されるお施主さまのショールームへの来場が増加し、希望日でのご予約が難しい状況が続いていました。

これを解消するため、東京・名古屋・大阪・福岡のショールームで「スマートサニタリー」シリーズの展示コーナーの面積と製品の設置台数を2.5倍以上に拡大しました。あわせて、お施主さまご自身でスムーズに仕様を選定いただけるよう、仕様決定チェックシートやご案内動画など、関連ツールを拡充しました。今後も、CS(顧客満足)の向上に努め、「スマートサニタリー」シリーズのさらなる拡販をすすめてまいります。



「スマートサニタリー」シリーズの展示コーナー

マットタイプのシーリング材がグッドデザイン・ベスト100を受賞

当社のシーリング材「抗菌・防カビ変成シリコーン マットタイプ」が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2024年度グッドデザイン賞」を受賞しました。また、当社製品としては初めて、グッドデザイン賞の中でも、特に優れたデザインとして100件が選ばれる「グッドデザイン・ベスト100」に選定されました。

昨今、住宅・非住宅ともに、光の反射を抑えた空間デザインがトレンドとなっており、空間の意匠性を損なわない納まりに対するニーズが高まりを見せています。一方、目地部材として広く使われているシーリング材には樹脂特有の高い艶があり、壁面材と目地材の艶に差が生じていました。そこで、マットな質感にこだわったシーリング材「抗菌・防カビ変成シリコーン マットタイプ」を2023年11月に発売しました。骨材を加えることでモルタル目地のようにマットで重厚感ある納まりを実現しています。重厚感ある目地によって壁面全体の統一感を高めることができる点、施工性を損なうことなくさまざまな建築・インテリアシーンでの使用が期待できる点を高く評価いただきました。

今回の受賞を励みとし、人や環境、社会に対して「優れたデザイン」をもつ製品の開発・提供をさらに推進してまいります。



受賞したシーリング材による重厚感ある納まり



GOOD DESIGN
AWARD 2024

**BEST
100**

企業活動のご案内

Corporate Activities

2025年大阪・関西万博へサプライヤーとして協賛 最寄り駅のOsaka Metro 夢洲駅でセラルル セレントとメースが採用

当社は、「アイカグループは共生の理念のもと、たえず革新により新しい価値を創造し、社会に貢献してまいります」を経営理念とし、その理念を体現すべく、社会課題解決に資する製品の開発・提供や、人的資本への投資、気候変動問題対応などに注力しています。

そのような中、大阪・関西万博が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、社会課題の解決やSDGsの達成に貢献することを目標にしている点、それらに基づき会場の基本計画がデザイン・設計をされている点に共感し、当社はサプライヤーとして協力しています。具体的には、共用施設内トイレ(トイレ5)に、高圧メラミンフロアタイル「メラミンタイル」、壁面用のメラミン不燃化粧板「セラルル」、それらの施工用接着剤2製品、メタクリル樹脂系人工大理石「コーリアン®」を使用した「アイカ人工大理石カウンター」の計5製品を提供しています。いずれも耐久性やメンテナンス性に優れており、世界各国から多くの人々が訪れる万博の会場整備に貢献しています。

また、万博会場の最寄り駅であるOsaka Metro中央線 夢洲駅に、当社のメラミン不燃化粧板「セラルル セレント」と、当社子会社であるアイカテック建材株式会社の押出成形セメント板「メース」が壁面材として採用され、延べ4,800㎡を納入しています。「セラルル セレント」は、不燃性・堅牢性・清掃性・施工性に優れた「セラルル」の意匠性を進化させた製品で、コンコース階、ホーム階、階段、トイレの壁面材として使用されています。「メース」は、耐震性・耐候性・耐火性に優れ、コンコース階、ホーム階、機械室の壁面材として使用されています。

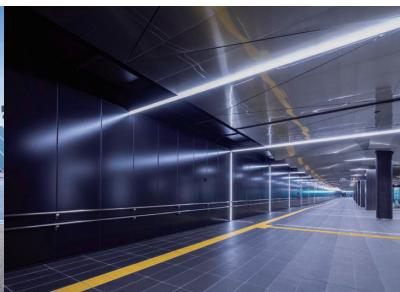
今後も、空間に彩りを与える素材としての意匠性をはじめ、機能性や施工性にも優れた建材を提供し、魅力的な空間の創出に貢献してまいります。



©Expo2025



5製品を提供する
共用施設内トイレ(万博会場)



角柱にセラルル セレント、壁面にメースが
採用されたコンコース階(夢洲駅)



壁面にセラルル セレントが
採用されたトイレ(夢洲駅)

会社の概要 (2025年6月24日現在)

Company Information

プロフィール

社名	アイカ工業株式会社
本社	名古屋市中村区名駅一丁目1番1号J Pタワー名古屋26階 電話 052(533)3131(代表)
本店所在地	愛知県清須市西堀江 2288 番地
設立	1936年10月20日
資本金	98億9,170万円
事業所	
生産拠点	名古屋工場(愛知県) 甚目寺工場(愛知県) 福島工場(福島県) 伊勢崎工場(群馬県) 茨城工場(茨城県) 丹波工場(兵庫県) 広島工場(広島県)
開発拠点	名古屋R&Dセンター(愛知県) 甚目寺R&Dセンター(愛知県) 福島R&Dセンター(福島県) 丹波R&Dセンター(兵庫県)
営業拠点	札幌支店 仙台支店 盛岡営業所 東京支社 埼玉支店 横浜支店 千葉支店 北関東支店 松本営業所 宇都宮営業所 新潟営業所 名古屋支店 静岡支店 北陸支店 大阪支店 神戸支店 京都営業所 広島支店 四国支店 福岡支店 鹿児島営業所

重要な子会社

会社名	アイカインテリア工業株式会社(愛知県)
	アイカハリマ工業株式会社(兵庫県)
	西東京ケミックス株式会社(東京都)
	アイカテック建材株式会社(東京都)
	アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社(シンガポール)
	エパモア・ケミカル・インダストリー社(台湾)
	アイカ・アジア・ラミネーツ・ホールディング社(タイ)
	アイカ・ラミネーツ・インド社(インド)
	アイカ・ラミネーツ・ベトナム社(ベトナム)
	アイカウィルソナート・タイ社(タイ)
	アイカウィルソナート上海社(中国)

主要製品

化成セグメント 外装・内装仕上塗材、塗り床材、各種接着剤、有機微粒子、他

建築建材セグメント メラミン化粧板、化粧合板、室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材、押出成形セメント板、他

取締役および執行役員

代表取締役会長	小野 勇 治
代表取締役社長執行役員	海老原 健 治
取締役専務執行役員	大村 信 幸
取締役常務執行役員	岩 塚 祐 二
○取締役 役	蟹 江 浩 嗣
○取締役 役	清 水 綾 子
取締役 監査等委員	森 良 二
○取締役 監査等委員	宮 本 正 司
○取締役 監査等委員	山 本 光 子
常務執行役員	石 井 寛 之
常務執行役員	市 川 豊 明
上席執行役員	Lee Kin Seng
上席執行役員	酒 井 信 禎
上席執行役員	森 島 英 謙
上席執行役員	足 立 雅 成
執行役員	佐 藤 克 尚
執行役員	何 文 杰
執行役員	石 井 直 美
執行役員	田 邊 裕 勝
執行役員	乾 功 一 郎
執行役員	金 川 元 勇
執行役員	鈴 木 康 史

(注) ○印は社外取締役であります。

株式の状況 (2025年3月31日現在)

Stock Information

1. 株式の総数 発行可能株式総数 116,577,000株
発行済株式の総数 67,590,664株
2. 株主数 13,058名
3. 大株主 (上位10名)

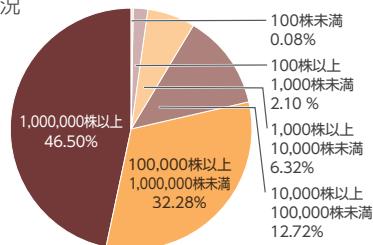
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,140	17.73
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,903	9.39
アイカ工業取引先持株会	2,454	3.90
アイカ工業株式保有会	1,613	2.56
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,519	2.41
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,409	2.24
住友生命保険相互会社	1,318	2.09
大日本印刷株式会社	1,293	2.05
JPモルガン証券株式会社	757	1.20
東邦瓦斯株式会社	738	1.17

(注) 1.当社は、自己株式4,775千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

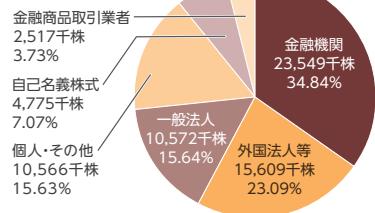
2.持株比率は、自己株式4,775千株を控除して計算しております。

4. 株式分布状況

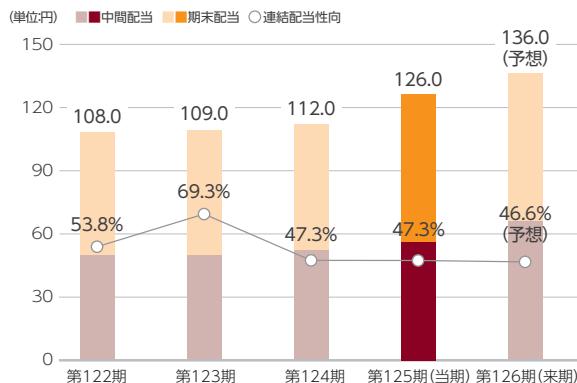
[所有株数別]



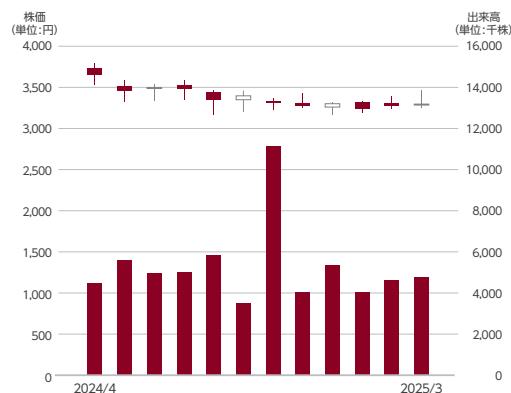
[所有者別]



配当金の推移



株価・売買出来高の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

Shareholder Memo

事業年度	4月1日～翌年3月31日
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
 名古屋証券取引所プレミアム市場

公告の方法 電子公告により行います。公告掲載URL <https://www.aica.co.jp/>
 (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取（買増）請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定（※） 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	手続き書類のご請求方法 <ul style="list-style-type: none"> ●証券代行部テレホンセンター 電話 0120-232-711 ●インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等	にお問合せください。

AICA

化学とデザインで面白いこと

